

Life with Sports!

PIVOT

FOOT

事業説明書

～軸足を地域に根ざす～

「地域ヘルスプロモーションにおけるスポーツの役割とエリアデザインの提案」

2002年12月設立

特定非営利活動法人 地域総合スポーツ倶楽部

ピボットフット

2017年5月

理事長 略歴

桑田 健秀

昭和28年生

大田区在住

〈略歴〉

慶応義塾大学卒

元NKK（日本鋼管）

モントリオール五輪バスケットボール代表選手

元バスケットボール全日本ジュニアコーチ

元(財)日本バスケットボール協会秘書室長・強化・普及委員

元バスケットボール日本リーグ機構常務理事

元エバラヴィッキーズ ヘッドコーチ（女子バスケットボール日本リーグ）

ヤマト運輸女子バスケットボールチームヘッドコーチ

総合型地域スポーツクラブ全国協議会幹事長

一般社団法人東京スポーツリンク理事長

第8期中央教育審議会スポーツ・青少年分科会委員

今後の地域スポーツ推進体制の在り方に関する有識者会議座長代理

スポーツ庁「スポーツ審議会委員」

〈資格等〉

日本体育協会C級スポーツ指導員

日本体育協会スポーツクラブマネージャー

ピボットフット設立趣意書

私たちはスポーツから多くの喜びと感動を得られることを知っています。

- ・ スポーツを通じて学ぶ精神性。健全な心、頑張る気持ち、連帯感、いたわり、助け合いなど。
- ・ 子供から高齢者までの幅広い方々が身近でスポーツを行うためには、これまでの企業と学校が推進していたスポーツとは、異なる**独立性を持った活動**が必要になってきております。
- ・ スポーツがより日常生活に溶け込み、多くの人々の生活に喜びと潤いをもたらす為に、私たちは、**スポーツが、いつでも、誰でも、生涯にわたって行える場**を作っていきたいと考えます。

わたしたちは、スポーツおよび**スポーツの振興**を通して、

- ・ 地域に独自のスポーツが行える**環境とその運営**を行い、
- ・ 生活の充実、素晴らしい人間性の形成、多くの交流が生まれる**場づくり**、
- ・ 明るく元気な**社会づくり、まちづくり**に貢献してまいります。
- ・ 地域に**夢と感動と希望**を提供します。

ピボットフットの目指すところ

— 運営形態 —

【私たちが目指す運営】

は、町として地域としてスポーツの振興をはかり文化、コミュニケーション、教育と様々な個性の生まれる環境づくりをする為に、

- 将来にわたる継続性
- 専門家による専任体制
- 明確な責任体制

を行える組織の確立が重要と考え

社会的法人格をもつ公益法人

「NPO特定非営利活動法人」が最適と判断しました。

NPO特定非営利活動法人とは

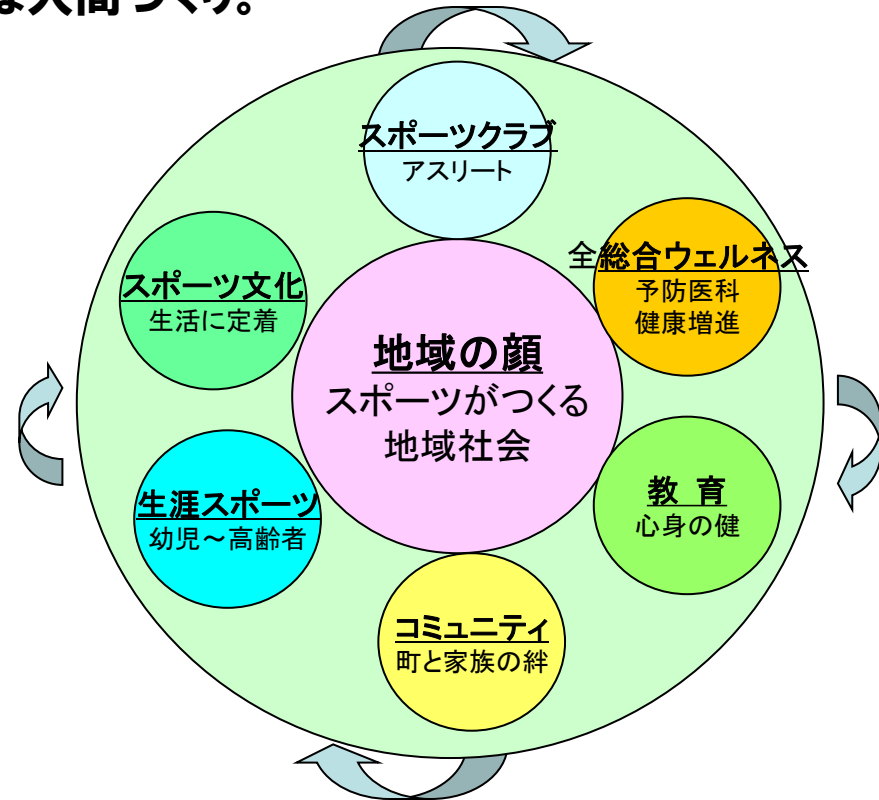
- 特定分野における非営利活動を行う団体
特定分野・・・保険、医療または福祉の増進、
 - ・社会教育の推進 ・子供の健全育成
 - ・町づくりの推進を図る活動
 - ・文化、芸術又はスポーツの振興
 - ・環境の保全 ・国際協力
 - ・地域安全活動 ・災害救援活動
 - ・人権の擁護、平和の推進
 - ・男女共同参画社会の形成
 これらの活動団体の支援、連絡等

- 営利を目的としない法人である。
- 社会的に法人格を持った公益法人である。
- 社会貢献活動として公益の増進に寄与する事業法人である。

ピボットフットの目指すところ

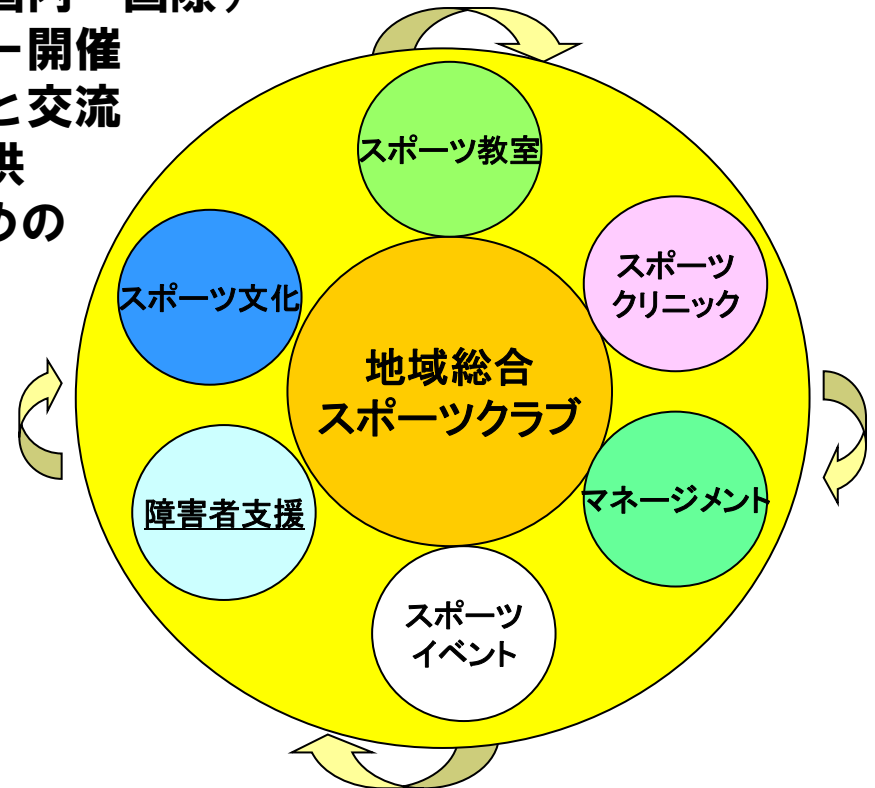
—使命—

- スポーツの振興を通して地域社会の活性化
- トップアスリートとともに楽しめる生涯スポーツの提案
- 青少年の情操教育と健全育成で社会教育的基盤づくり
- 健康増進・健康管理の予防医学・栄養学等の普及
- まちづくり・地域のコミュニティづくりと心豊かな人間づくり。
 家族の絆回復で家庭づくりへの貢献
- 新しいスポーツクラブライフの提案
- スポーツ文化の定着



主な事業内容

- 地域総合スポーツクラブ運営（複数のスポーツや文化活動との連動）
- 地域密着型スポーツ教室の開校（継続的な一貫指導）
- スポーツクリニックの開講（定期的）
- 指導者の育成・派遣（競技、クラブ運営）
- スポーツイベントの企画・運営支援（国内・国際）
- スポーツ予防医学・栄養学等のセミナー開催
- 障害者、知的障害者スポーツ活動支援と交流
- スポーツ及びその活動に関する情報提供
- NPO法人の社会的存在意義を高めるための他団体間との交流



事業部門のご紹介

■ スクール部門

- ・バスケットボール、テニス、健康体操、チアリーディング
- ・夏、冬キャンプの開催
- ・定期的クリニックの開催
- ・各イベントへの参加

■ イベント部門

- ・スポーツイベントの企画、運営支援
- ・各種イベントの企画運営支援
- ・地域との交流イベント

■ 指導者育成部門

- ・技術講師の育成と派遣
- ・クラブマネージャーの育成
- ・指導者養成講座の開催
- ・審判養成講座の開催

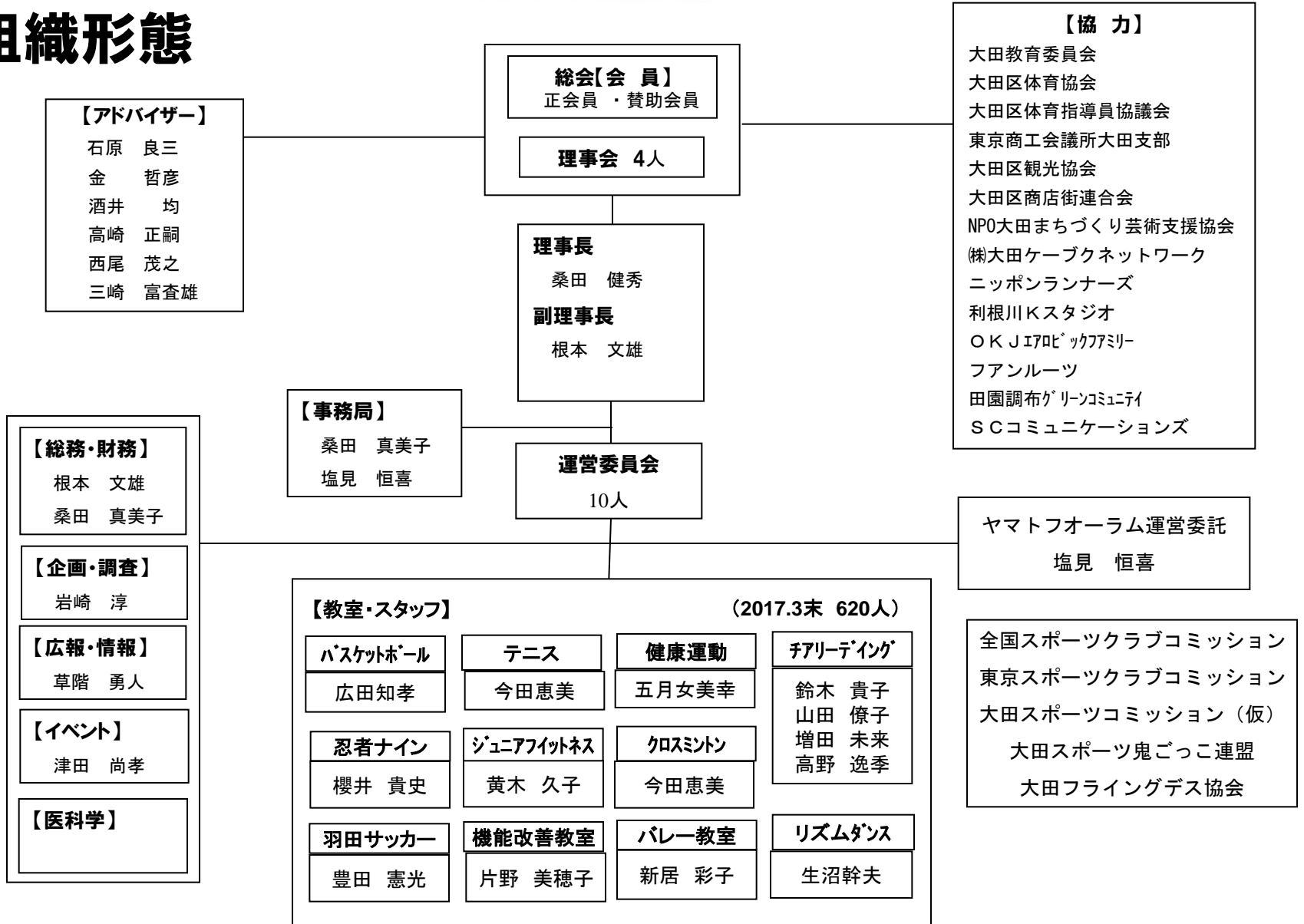
■ 医科学部門

- ・スポーツ医科学セミナーの開催
- ・栄養学等セミナーの開催
- ・日常の健康管理, 予防講座の開催

■ 事業部門

- ・(株)ヤマト運輸羽田フォーラム運営
- ・エニータイムフィットネス

組織形態



各種イベント、セミナーのご紹介

【これまでの実績など】

●東京都・大田区主催行政イベントや地域主催行事多数に出演

●スポーツ栄養学セミナー

●指導者講習会 テーマ「コーチングについて」

「審判技術について」

「テーピング、熱中症予防」 など



エバラヴィッキーズとの協働

(女子日本バスケットボールリーグ所属)

【これまでの実績など】

- ヘッドコーチに理事長が就任することで地域での一貫指導体制が確立
(就任2年目の06年度戦績11勝5敗でW1リーグ単独2位、12年度から一部昇格)
- 企業と行政と連携し地元小中学校の授業へチームとして参加し地域貢献
- 地域のスポーツ財産として大田観光協会、商工会、商店街等と連携
- ホームタウンゲームを主管し「見るスポーツ」の提供を実施
- 日本を代表するリーグのチームとして各区市町村への活動の場を展開



(注意)エバラヴィッキーズは現在は東京羽田ヴィッキーズにチーム名を変更しました。

新事業 2007年度～

①東京都教育委員会「エンカレッジスクール」への支援

－主旨

可能性がありながら力を発揮できずにいる高校生を積極的に受け入れ、**体験学習の導入**など魅力的な授業展開を行う。都立蒲田高校で実施(2007.4～)

－提供するプログラム

- ・バスケットボール、チアリーディング
空道、テニス、スピードミントン
ジャグリング、落語、織物、和太鼓



②東京都教育庁「青少年スポーツ活動支援」

都立蒲田高校運動施設の共同運営で地域スポーツ振興の拠点化を目指す

③ JWCPE子どもスポーツネット

●日本女子体育大学畑研究室と協働で「かけっこ教室」を
企画・開催

- 「かけっこ」をはじめスポーツの基礎を幅広く提供
- 運動の基礎を楽しみながら合理的で効果的な指導方法を普及する



④ 高齢者エアロビクス指導者講習会

- 「利根川Kスタジオ」と協働で高齢者向けエアロビクスを企画・開催
第一人者である利根川先生の指導のもと

- 大田区で高齢者向け指導者養成クラスを開講(2007.10~12月)
- 団塊の世代はじめて高齢者エアロビクス教室の開催準備



⑤スポーツゴミ拾い

●環境とスポーツをキーワードにした地域の活性化 地域と企業のコミュニケーション向上のための施策



「環境」と、健康・教育としての「スポーツ」を掛け算し、地域と企業がひとつになり継続的に取り組むことのできる新しいコミュニケーション施策を提案します。

開催日：2010年3月20日(土)

- ◇ 時 間 : 午前10時～午前12時30分
- ◇ 開会式場所: 萩中公園
- ◇ 競技エリア : 萩中公園を中心に半径約2キロメートル
- ◇ 参加チーム: 15チーム 89名 / スタッフ29名/合計118名
- ◇ ごみ総重量: 157.93kg
- ◇ 参 加 者 : 小学生～高齢者、一般区民～企業人、
スポーツトップ選手～地域サークルまで

※公式競技ルール、競技エリア、競技時間、公認審判帯同判定



⑥文部科学省委託事業 (2011.9月～)

ースポーツコミュニティ形成促進プロジェクトー

●トッパアスリートがあなたの街に！学校に！（トッパアスリート派遣事業）

ー地域クラブ・学校部活・少年団・小学校体育授業にトッパアスリートを派遣

ープロジェクトメンバー

一般社団法人東京スポーツリンク・NPO法人はちきたSC・地域スポーツネットスパンク・田園調布グリーンコミュニティ・南千住スポーツクラブ・(株)ファンルーツ・(株)ライトスタッフ

大田区立松仙小学校・新宿小学校・東調布第一小・田園調布小他

⑦ピボットフットとヤマト運輸(株)との連携協働

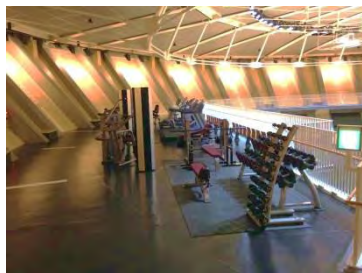
- 企業と地域を繋ぐフォーラム運営(社会貢献ゾーン、稼働率90%)
- ヤマト夏祭りの企画運営、小中学生のバスケットボール教室、ヤマト女子バスケットボール部創部(全国大会出場・中学部活指導者派遣)障がい者スポーツへの協力
- ピボットフット教室(高齢者体操、ダンス、バスケットボール)の開催

2013.11月
オープン



2014.12月バスケットボール

2014.7月地域夏祭り



ピボットフット経営の背景

1. 2011年「スポーツ立国戦略」、2012年「スポーツ基本法改定、基本計画策定」
2. (公財)日本体育協会「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」
3. 2020年東京オリンピックの招致、それに伴うスポーツ庁設立、競技スポーツとの連携協働の重要性
4. 日本のスポーツ界の底辺に位置する「総合型スポーツクラブ」の存在と役割の重要性
5. 新たなスポーツインフラとして社会性の確立と自主自立を目指し、新しい公共としての「総合型クラブの社会的意義と価値」を訴求し、地域の核となり社会づくりを目指す

事業化・産業化に向け、具体的な構造改革の事例を提供

自主自立するための取り組み

①ピボットフットの事例

財源確保・人材確保・情報確保の好連鎖
4拠点クラブ連携活動

②その背景と今後の展望

ネットワーク強化での営業戦略

ピボットフットの事例①

1. 基幹事業であるスポーツ教室の充実（プロ指導者の確保）

2016年度活動実績 年間10種目37教室 延べ1,400教室

参加21,356人 会員数589人

収支決算 収入54,726千円、支出54,365千円 収支360千円

2. PR、広報での地域イベント積極参加 → 教室参加者の勧誘

2016年度活動実績 年間109のイベントに参加

3. イベント企画を通して地域諸団体との連携

行政・観光協会・自治会・スポーツ推進委員等

スポーツゴミ拾い、スポーツ鬼ごっこ、区スポーツ交流会等

4. 小・中・高等学校との良好な連携 →（学校運営協議会）

体育授業支援・部活支援と施設優先使用

ピボットフットの事例②

5. 地元トップチームとの連携と循環 (ヤマト運輸女子バスケットボール部)

クラブ教室や学校部活へ派遣、倶楽部PRと教室参加者の勧誘

6. 民間企業との事業連携

ヤマト運輸アリーナ運営（運営受託、スタッフ確保）、ヤマトイベント運営(夏祭り)、エニータイム、元気やる気スイッチ、飲料自販

機
、吉本興行（FA制度）、地域包括ケアシステム

7. 行政との良好な連携協働関係

政策提言（参考資料）と施設の優先確保（区条令）

8. 国・都・区行政、他民間企業との情報共有と情報獲得

ロビー活動の徹底と実践

スポーツ界以外との人脈構築

ピボットフットの事例③

4拠点クラブ連携事例

文科省委託事業(H24・25年度)

Life with Sports!



NPO法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット(大田区)



NPO法人コミュニティネットSSC大泉(練馬区)



NPO法人調和SHC倶楽部(調布市)



NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF(川崎市)

大田区スポーツ推進・健康街づくり 全体構想案(骨子)

～ 2020東京オリンピック・パラリンピック、そしてその後に向けて～

■目的

- ・「する、みる、支えるスポーツ」による「スポーツ健康都市宣言」の具現化
- ・スポーツを中心にした街づくり、コミュニティづくり
- ・スポーツ・文化・産業の振興と国際都市おおたの実現

★課題

- ①スポーツによる健康で豊かな暮らしの実現
- ②スポーツによる経済活性化
- ③2020オリンピック・パラリンピック以後も持続可能な「スポーツ健康都市」づくり

■役割

- 1)関係部局、関係団体との連携・調整。
- 2)必要予算づくり。

■オリンピック・パラリンピック対策室設置

- 1)区全体でのキャンペーン
- 2)ハード・ソフトの充実(新空港線・空港跡地活用・事前合宿やスポーツイベント誘致)

■役割

- 1)スポーツを通じて区民の健康づくり。
- 2)スポーツを通じて地域の賑わいと活力を増進。
- 3)スポーツを通じてココロとカラダの教育。
- 4)地域総合型スポーツクラブの活動&設立支援。
- 5)スポーツを通じた障害者のノーマライゼーション化。

■大田区内の地域総合型スポーツクラブとの連携

- 1)各種スポーツ教室、健康づくり教室実施。
- 2)おおた地域スポーツネットワーク会議の開催。
- 3)おおたスポーツ健康フェスタの実施。
- 4)Facebook「おおた地域スポーツクラブネットワーク」によるスポーツ活動・イベント情報の発信。
- 5)スポーツ関連ポータルサイトでの情報公開。
- 6)大田区商店街連合会との提携。
- 7)障害者スポーツのPR。

■役割

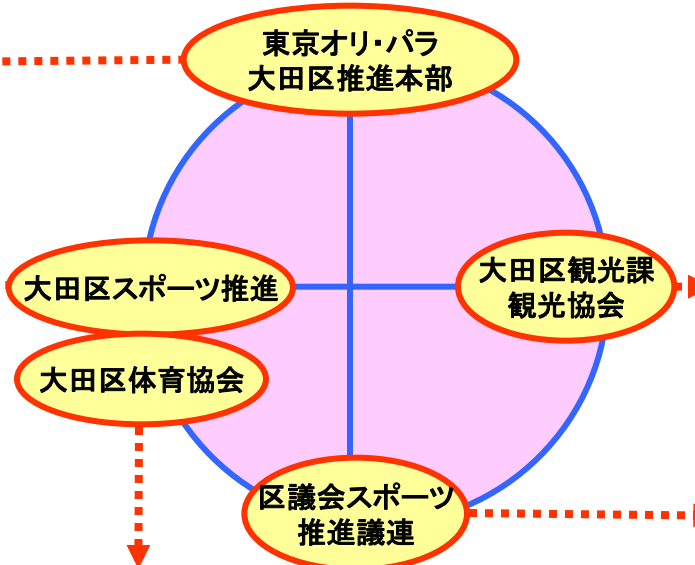
- 1)スポーツによる観光事業(国内・国外)の促進。
- 2)スポーツによる地域経済の活性化。
- 3)スポーツによる国際交流の促進。
- 4)スポーツ健康都市「おおた」の広報活動。
- 5)既存スポーツ施設の有効活用。

■スポーツコミッションの実現

- 1)オリパラ事前合宿の誘致。
- 2)国内外のスポーツ大会(主にインドア)の誘致。
- 3)外国マイナースポーツチームの応援。
- 4)羽田国内線跡地の有効活用(ビーチスポーツ場づくり)
- 5)多摩川河川敷など活用したマラソンコース、ウォーキングコースの整備・大会実施。

■役割

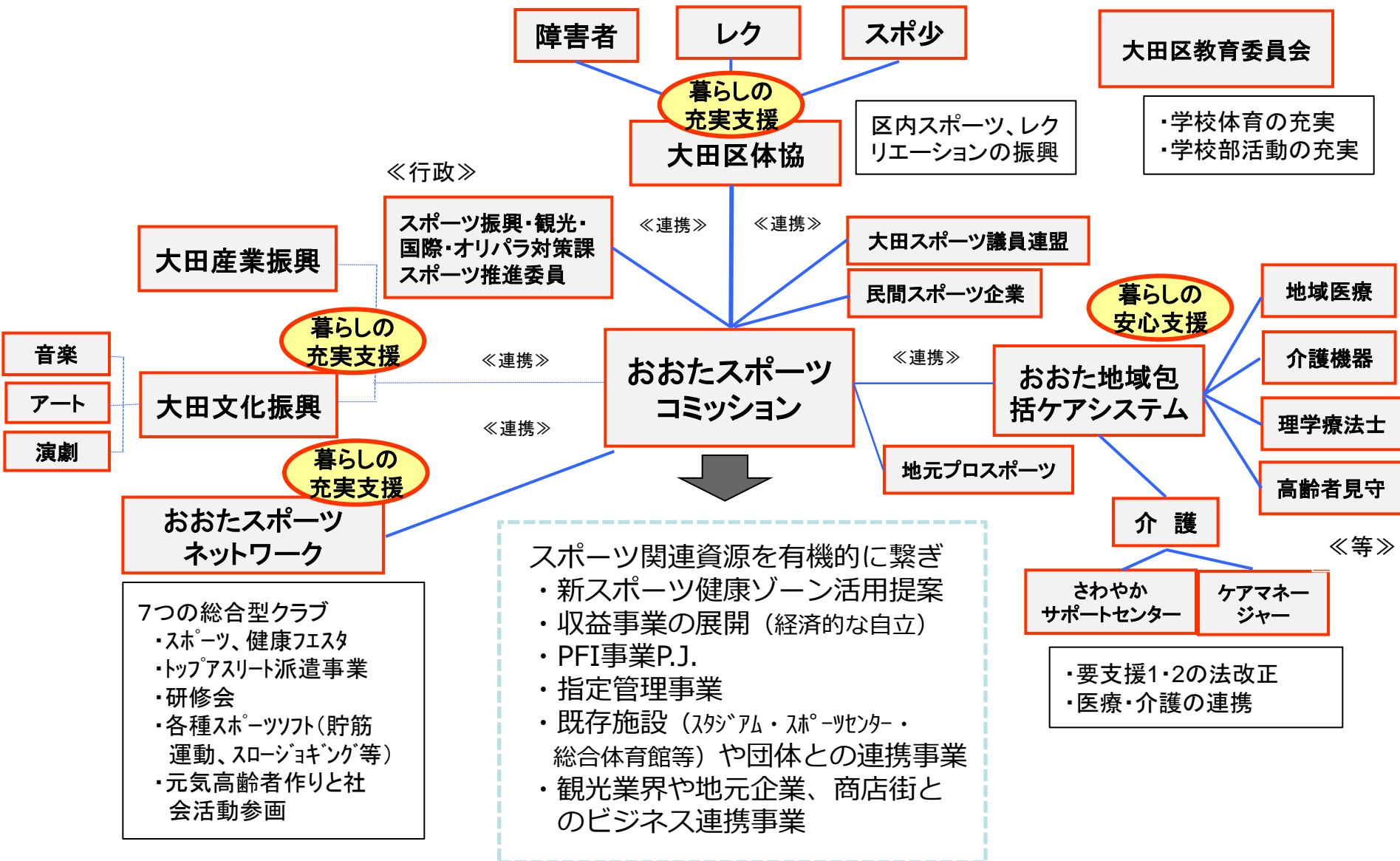
- 1)大田区民へのPR。
- 2)都・国へのPR。
- 3)スポーツ関連企画への前面・側面・後方支援。



2020東京オリ・パラ以後、国際空港のある街「国際スポーツ健康都市おおた」の実現

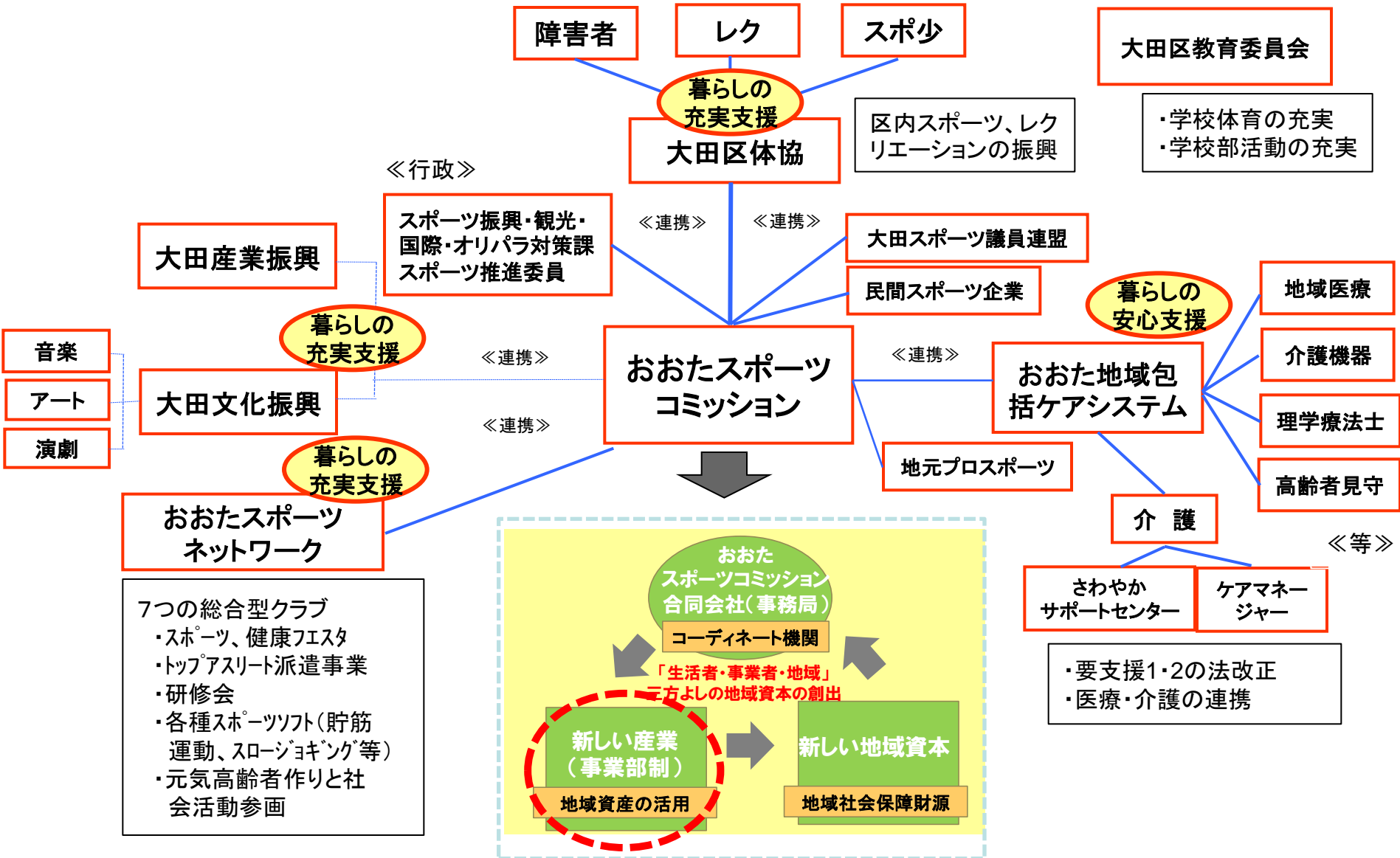
大田スポーツ振興総合プロジェクト 地域資産マップ

～地域スポーツを軸とした街づくり～



大田スポーツ振興総合プロジェクト 地域資産マップ

～地域スポーツを軸とした街づくり～



私たちが実践する地域スポーツクラブのモデルプラン

「大田区モデル」

内 容

- ①スポーツを「する」「見る」「支える(応援する)」多様な楽しみ方への寄与
- ②スポーツエンターテイメントとしての事業化
- ③スポーツのもつ役割の拡充ー学校など地域社会の発展への寄与
- ④都市間競争の激化等の社会変化に勝ち抜く戦略としてのスポーツ振興

**特定非営利活動法人
地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット
理事長 桑田 健秀**

〒143-0027

東京都大田区中馬込1-1-17-504

Tel&Fax 03-3776-5113

<http://p-foot.jp/>

E-mail pf@p-foot.jp